



PRESS RELEASE
報道関係者各位

2012年5月18日

No. 2012-036

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 (SVA)

四面楚歌になるミャンマー（ビルマ）難民キャンプの人々 第三国、本国、タイでも将来を保障されない難民たちの現状を伝える報告会を開催



写真：富田きよむ

ミャンマー（ビルマ）政府の急速な民主化政策は、タイ国境にある難民キャンプの人びとにも大きな影響を与えています。唯一の解決法であった第三国定住政策は、今年3月に日本政府が受入れ延長を決める一方で、大量受入国だった米国は2013年から受入れを収束させる方針を示しています。

1月には、ミャンマー（ビルマ）政府は、60年以上に渡って反政府武装闘争を続けてきたカレン民族同盟（KNU）と停戦合意しました。その後の和平交渉の中には国内避難民、難民の自主的本国帰還も含まれていますが、安全に帰還できるまでにはまだ条件が揃っていません。タイ政府は、難民がキャンプを出てタイ社会で働くようなタイ国内統合を認めておらず、第三国定住や自主的本国帰還を促進する立場をとっています。また難民キャンプでは、国境支援から国内支援へシフトする各国ドナーの影響を受けて、NGOは支援継続に苦勞し、人々の生活不安は日に日に増幅しています。

このように、第三国、本国、タイでも将来を保障されない人々が、さらに難民キャンプにおいても十分に保護されない状況が始まっています。これも本国帰還に向けられたシナリオなのでしょうか。

四面楚歌のミャンマー（ビルマ）難民キャンプ。そこで人々は何を考え、どんな行動に将来を見出しているのか。NGOに求められる役割とは、コミュニティ図書館の運営を通じた教育支援のあり方とは何か——。SVAミャンマー（ビルマ）難民事業事務所所長の小野豪大がお伝えします。

◇報告者 小野 豪大（おの たけひろ）SVAミャンマー（ビルマ）難民事業事務所 所長
北海道美唄市生まれ。大学時代にインドシナ難民への定住支援に関心を抱き、卒業後はNGOなどで神奈川県を中心とした定住難民支援事業などに従事した。1993年、SVA入職。現職は2007年から。



■日時 2012年6月6日（水） 19:00~20:30（開場 18:30）

■会場 JICA地球ひろば
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24 東京メトロ日比谷線広尾駅下車（3番出口）徒歩1分

■資料代 500円（SVA会員、アジアの図書館サポーターは無料）

■お申し込み、お問い合わせ： 電話、メール、HPにある本イベントページ内で受け付けております。
電話： 03-6457-4586 Email：pr@sva.or.jp（担当： 鎌倉、鈴木）
URL：http://www.sva.or.jp/（SVAで検索してください）

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA） 担当：鎌倉

〒160-0015 東京都新宿区大塚町31 慈母会館2、3階

Tel:03-6457-4586 FAX:03-5360-1220 E-mail: kamakura@sva.or.jp http://www.sva.or.jp/



ご参加申し込み用紙
FAX 03-5360-1220

四面楚歌になるミャンマー（ビルマ）難民キャンプの人々

2012年6月6日（水）19:00~20:30

場所: JICA 地球ひろば

贈呈式の参加をご希望の方は、以下にご記入の上、できましたら事前に、メール・電話・ファックスにてお申し込みをお願いします。

その際、個別取材ご希望の方はご遠慮なくお申込みください。

電話: 03-6457-4586 Fax: 03-5360-1220 E-mail: kamakura@sva.or.jp
担当: 広報課 鎌倉幸子

貴社名	
貴媒体・番組名	
部署・役職名	
御芳名	(ほか 名)
電話（携帯可）	
E-mail	
個別取材ご希望	<input type="checkbox"/> あり（ご要望の取材内容がありましたら、お聞かせください）

お申込みありがとうございました

JICA 地球ひろばまでのアクセスマップ



本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA） 担当: 鎌倉

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2、3 階

Tel: 03-6457-4586 FAX: 03-5360-1220 E-mail: kamakura@sva.or.jp <http://www.sva.or.jp/>